プーリでの水脈の危険から子供を守ろう!

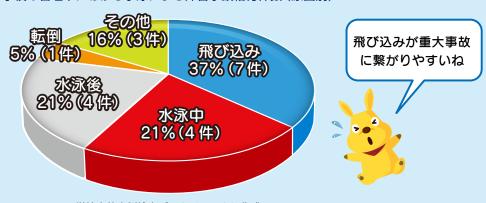
水泳中の事故は多く、水泳は危険を伴う運動であることを子供たちにも認識させましょう。

過去の事故事例

体育の授業で水泳を行った。<mark>飛び込み台より水中へ飛び込んだ</mark>ところ、 プールの底に頭頂部を打ちつけ、頚椎を骨折した。(中3・男子)

水泳の授業中、大プールに移動し自由泳ぎをしていたが、教師の目が行き 届かなかった5分程の間に溺水した。(小2・男子)

夏休み、水泳指導が終わった後、バスタオルを首からかけ、<mark>両手が出ない</mark> 状態でプールサイドを走り、転倒し、下顎裂傷となった。(小1・女子) 平成 27年度~令和元年度 学校の管理下における水泳による障害事故給付件数(原因別)



学校事故事例検索データベースより作成

DVD **水泳の事故防止** ~プールへの飛び込み事故を中心に~

約8分の動画です。 職員研修などでご活用ください!







各ポイントをまとめました。 裏の熱中症対策も併せて ご覧ください!

事故防止のポイント!

- ①溺水の事故防止
 - 指導者は高い位置から水面だけでなく水中や水底も注意深く監視する。
- ②児童・生徒への指導
- 飛び込みをさせない。ふざけさせない。プールサイドを走らせない。
- ③施設・設備管理の徹底
- 水温·水量の確認、AEDの設置場所も確認する。また排水口の蓋、破損箇所を点検・修理する。

新型コロナウイルス対策のポイント!

- ①ドアノブやシャワーの水栓等、児童生徒が触れる箇所は適宜消毒をする。
- ②見学の児童生徒は必要に応じてマスクを外し、他の児童生徒との距離を2m以上確保する。
- ③プール内で密集しないよう、一斉に大人数の児童生徒がプール内に入らないようにする。
- ④手をつないだり、体を支えたりするなど児童生徒が密接する活動は避ける。
- ⑤更衣室は少人数の利用にとどめ、不必要な会話や発声をしないよう児童生徒に指導する。

参考:12019年度スポーツ庁委託事業 学校における体育活動での事政防止対策推進事業 成果報告書」・1プールの安全標準指針」平成19年3月 文部科学省 国土交通省・1学校の水泳授業における感染症対策について」令礼3年4月9日 スポーツ庁 文部科学省



ールでの熱中症対策例

先生・指導者向け

集合させる場合や更衣室の利用に当たっては、 3密(密閉、密集、密接)を避けつつも、 熱中症になりやすい児童生徒等への目配り、 声掛けをするようにしましょう。

- マスクを着用させる。
- 日陰で見学させる。
- 必要に応じてマスクを外し、他の児童生徒との距離を2m以上確保する。

プール内・プールサイド

- 不必要な会話や発声をしないよう 指導する。
- 密集させない。





児童生徒等の足を守る。

サンダルなど



児童生徒等を集合させる 場所は直射日光を避ける。

テント設営など

高温多湿になる更衣室を 冷やす。(空調がなければ、 なるべく利用を避けるか、 短時間で行う)

エアコンなど

- 少人数の利用にとどめる。
- 不必要な会話や発声を しないよう指導する。
- ●利用の前後に手洗いを 徹底すること
- ●ドアノブ、スイッチ、 ロッカー等は適宜消毒 を行うこと

タオル等の取り違えや 貸し借りをしないよう 指導する。

水温の上昇抑制のため、直射日光を遮る。

水面をシートで覆うなど

氷のう・保冷材など

更衣室

IAPAN SPORT COUNCIL

独立行政法人日本スポーツ振興センター

出典:パンフレット「学校屋外プールにおける熱中症対策」

氷や冷却用の

タオルなど

(おことわり)本パンフレットは、平成30年度スポーツ庁委託事業 学校における体育活動での事故防止対策推進事業の成果を取りまとめたものです。

掲載された熱中症対策の実施に当たっては、新型コロナウイルスを想定した『学校の新しい生活様式』における熱中症予防行動を実践できるよう、これによりなにあっている。 も配慮が必要です。

(参考: 令和3年4月9日付けスポーツ庁・文部科学省事務連絡「学校の水泳授業における感染症対策について」)



学校安全部 https://www.jpnsport.go.jp/anzen/